

平成以降出生した日本人の「怒り」の言語表現について

— インドネシアとの比較 —

ファラー・ジア・ウルル・アルバブ

1. はじめに

広島大学で学ぶ中で日本人の友人が多くできたが、インドネシアで学んだことのない言葉を耳にする機会がたびたびあった。中でも若者言葉には、戸惑うものが多かった。そこで、日本人の若年層を対象に、不快感・怒りを覚えたとき、どのような言葉を使うかを考察することにした。広島大学の学生にアンケートを行い、書籍などによりながら分析を行った。また同年層のインドネシアの学生についても同様のアンケートを行い、比較することでより日本の若年層の怒りの言語表現の特徴が明らかにしたい。

1.1 若者言葉

言葉は、年々変わるものである。若者言葉とは、主に若者が使用している言葉をここではさすが、「若者」は何歳から何歳までか年齢が曖昧である。そこで、筆者は平成(1998)以降出生した日本人に絞ることにした。

1.2 感情表現

人間は様々な感情を持つ。本研究は「怒り」の言語表現について考察する。怒りは不機嫌や不快感が生じた時、唇が震えだしたり、眉毛の間を微かに曇らせたり等身体的な変化が現れるが、同様に避難を受けたり、また腹を立てたり、気分が沈んだ時など、ある種の言語表現も行ふ。筆者はインドネシア人であるため、インドネシアの若年層が使用している怒りの言語表現と比較しながら、考察していく。

1.3 方法論

書籍：明解日本語学辞典、Linguistik Umum

アンケート：インターネット：日本人向け：35件

インドネシア人向け：46件

印刷物：日本人向け：31件

調査期間：2016年1月 - 2016年7月

アンケート調査は2016年3月から2016年7月にわたって行い、対象者は

日本人：広島大学の大学生・社会人

インドネシア人：パジャジャラン大学の大学生

2. 考察

調査方法はインターネットと印刷物の 2 つの手段で行った。アンケートの回答は一人が 1 つ以上の言葉表現をあげてもらった。

2.1 日本の若者に対するアンケートの考察

なんだよー？	どうもならん	なんで？	なんなんだよ！
ムカつく	意味わからん	禿げろ！	なんや！
まったく！	ウソ！	まじクソ！	は？！
クソ！	ウザい	たいぎい	ありえない
なんなの！	ふざけるな！	もう！	ムリ
きび	まじいみふ	だるい	バカじゃないの？
腹立つ	イライラする	えぐい	ええかげんせえよ
くっされ	きもい	黙って！	クソムカつく
しんどい	めっちゃムカつく	つら	最悪
カス	謎	イラつく	たまらん

以上のアンケート回答から見ると、日本人がひんばんに使用する怒りの言語表現は 3 種類に分けられることができる。一つ目は、

どうもならん	ムカつく	まったく	まじクソ	クソ
めっちゃムカつく	たいぎい	もう！	ムリ	きび
クソムカつく	えぐい	くっされ	イラつく	最悪
イライラする	しんどい	つら	腹立つ	ウザい
だるい				

これらは自分の感情を吐き出す言語表現だと考えられる。省略した言葉、「厳しい」からの「きび」、「つらい」からの「つら」、「くそつたれ」からの「くっされ」も見られる。また、これらの言語表現から広島弁の「たいぎい」、関西弁の「しんどい」「ええかげんせえよ」の方言も使用されていることが分かった。アンケートの回答によれば、「ムカつく」という言葉表現を使用している人が 15 名いた。そして、「ムカつく」という言葉の元々の意味は胃のもたれ・胃の不快感・胸やけ・食事が通らない・吐き気を感じる¹⁾ことであるが、最近「ムカつく」という言葉は本来の意味よりも怒りの言語表現のほうがよく使用されている。また、ムカつくとは「胃がムカつく」に見られるように、胸焼けや吐き気をもよおすことだが、関西などエリアによっては江戸時代から「癩に障る」「腹が立つ」という意味でも使われる²⁾。また、「腹が立つ」と「ムカつく」の違いは「腹が立つ」は怒りの対象となる人や物がはっきりしているときに用いられるのに対し、「ムカつく」は加害者がはっきりしなかったり存在しないような、やり場のないいらだちを

表すときにも用いられる傾向が見られる。これらから、怒りという感情と身体の機能とに
 関係があるのではないかと考えられる。また、「ウザい」とは「うざったい」の略で、
 「鬱陶しい」「わずらわしい」「うるさい」「面倒臭い」「気持ち悪い」「邪魔」といっ
 た意味を持つ。「ウザい」は 1980 年代のツッパリブームから関東圏を中心に使われるよ
 うになり、1990 年代には不良以外にも使われ、全国的に普及する。「ウザい」が更に簡
 略化された「うざ」や「ウザい」の語感が荒くなった「うぜー（うぜえ）」という言い方
 もある³⁾。

言語表現	人数
ムカつく	15名
ウザい	7名
腹立つ	5名
クソ	4名
もう！	3名
たいぎい	2名
だるい	2名
まじクソ	1名
まったく	1名
ムリ	1名
きび（厳しい）	1名
えぐい	1名
くっされ	1名
イラつく	1名
イライラする	1名
どうもならん	1名
めっちゃムカつく	1名
つら（つらい）	1名
クソムカつく	1名
しんどい	1名
最悪	1名

二つ目は、

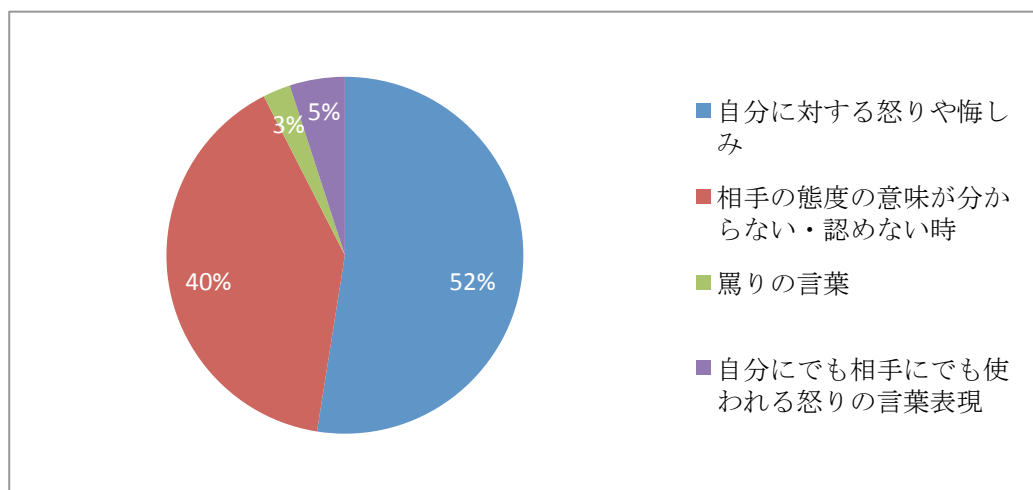
なんだよー？	なんで？	なんや！	なんなんだよ？！
意味わからん	ウソ！	は？！	バカじゃないの？
ありえない	なんなの？	黙って	ふざけるな！
まじいみふ	たまらん	謎	ええかげんせえよ

これらは相手の言っている内容や行為の意味が分からない時・相手に理由を求めたい
 時に使われる言語表現だと考えられる。以上の言語表現にも方言と省略された言葉が見ら
 れる。相手に対しての怒りの言語表現にも方言や省略を使用されていることが分かった。

言語表現	人数
ありえない	4名
なんで？	3名
意味わからん	2名
ふざけるな！	2名
なんや？	1名
ウソ！	1名
は？！	1名
バカじゃないの？	1名
なんだよー？	1名
なんなの？	1名
黙って	1名
なんなんだよ？！	1名
まじいみふ（まじ意味不明）	1名
たまらん	1名
謎	1名
ええかげんせえよ	1名

三つ目は、アンケートから一つだけ見られた言語表現についてである。その言葉は「禿げろ！」である。三つ目の種類は相手がひどい目に遭えばいいという意味だと考えられる。この言葉、「禿げろ！」と似た使い方は「死ね！」などがある。この種類の言語表現は**罵りの言葉**の一種とも考えられる。品詞の視点から見れば、「禿げろ！」「死ね！」は動詞の命令形である。こうした言語表現はアンケートの回答から非常に少ないので、大体の日本人は罵りの言葉をめったに使用していないことが分かった。また、第1と第2どっちにも入りそうな言語表現は「キモイ」と「カス」が見られる。アンケートの回答によれば、「キモイ」と「カス」という言語表現は自分が悔しい時や面目ない時と相手の態度を認めていない時にも使われるようだ。また、怒りを覚えた時に「言葉が出ない」とした回答があり、他にアンケート表で答えを書かなかった対象者が8名いた。

図1 日本の若者に対するアンケートの回答



2.2 インドネシアの若者に対するアンケートの考察

アンジン Anjing	バビ Babi	バンサット Bangsat	タイ Tai	ブレンセク Brensek	ジャブライ Jablay
バンケ Bangke	バジンガン Bajingan	モニエト Monyet	シアラン Sialan	<i>Shit</i>	euh!
オランギラ Orang Gila	aish!	ヤスダラ Yasudahlah	アバアンシ Apaan sih?	アテウラ Atulah	クスル Kesel
サムバ Sampah	クナバシ Kenapa sih?	Argh!	アエラ Ah elah!	カムブレト Kampret	ゲロ Gelo
アンジル Anjir	<i>Madafaka</i>	<i>Fuck</i>	<i>Astagfirullah</i>	アスタガ Astaga	アスリ Asli?!
<i>Damn</i>	<i>WTH!</i>	ブスク Busuk	<i>Ya Allah</i>	スムバ Sumpah	スブル Sebel
ベバス Bebas	ベレスバンゲト Beres banget	テウルスラ Terserah	ボドアマト Bodo Amat		

対象者はパジャジャラン大学の大学生で、若年層が頻繁に用いる怒りの言葉は 5 種類にわけられるものと考えられる。第一に

シアラン Sialan	<i>Shit</i>	euh!	aish!	クスル Kesel	Argh!
アエラ Ah elah!	カムブレト Kampret	アンジル Anjir	<i>Madafaka</i>	<i>Fuck</i>	<i>Damn</i>
<i>WTH!</i>	スムバ Sumpah	スブル Sebel	ベバス Bebas	テウルスラ Terserah	ボドアマト Bodo Amat

これらもインドネシア人の若年層が頻繁に用いる怒りの言語表現と考えられる。これらの言語表現、「^{シアラン}Sialan」、「euh!」、「aish!」、「^{クスル}Kesel」、「^{アエラ}Argh!」、「^{アンジル}Anjir」、「^{スムバ}Sumpah」、「^{スブル}Sebel」は全部意味的に日本語では「クソ!」「悔しい」の意味に近い。アンケートの回答によれば、46 名から、最も多いのは「^{アンジル}Anjir」であり、「^{アンジル}Anjir」と答えた人が 6 名いた。その次に、「^{シアラン}Sialan」であり、「^{シアラン}Sialan」と答えた人は 5 名いた。

一つの言葉、「^{アンジル}Anjir」の元々の形は「^{アンジン}Anjing」で、日本語では「犬」という意味であるが、インドネシア語では「犬」という言葉は罵る時に使う悪い意味を持っている。それは宗教との関係による。これはインドネシアの特有である。インドネシア人の若年層は「犬」という言葉を罵りの意味から和らげるために、元の言葉を少し揺らし、言葉を造語した。例えば、「^{アンジル}Anjir」の他には「^{アンジャイ}Anjay」「^{アンニイン}Anyink」などが造語された。「^{アンジル}Anjir」が変わり、「^{アンジル}Anjir」と「^{アンジン}Anjing」の 2 つに分かれた。この言葉表現「^{アンジル}Anjir」、は親しい友人と冗談の時にも使う。以上を考えると、「^{アンジン}Anjing」の罵りの意味や使い方などが少しだけ和らげるようになったが、全体的にあまり変わらない。

また、インドネシア人の若年層が英語にも関心があるため、英語の「Madafaka」、元の形「Motherfucker」、「Fuck」「Damn」「WTH!」が使われる。英語で「Motherfucker」と「Fuck」は罵りの言葉だけで使用されているが、インドネシア人の若年層が自分が悔しい時によく使う。また、「^{ベバス}Bebas」「^{テウルスラ}Terserah」「^{ボドアマト}Bodo Amat」は日本語で「勝手にすれば!」「どうでもいい」の意味に近い。

この種類の言語表現の品詞は間投詞が多く見られる。

言語表現	人数
<small>アンジル</small> Anjir	6名
<small>シアラン</small> Sialan	5名
<i>Shit</i>	4名
aish!	3名
<small>ケスル</small> Kesel	3名
euh!	3名
<small>ア エラ</small> Ah elah!	3名
<small>カムブレト</small> Kampret	3名
<small>スブル</small> Sebel	3名
<i>Fuck</i>	2名
<i>Madafaka</i>	1名
<i>Damn</i>	1名
<i>WTH!</i>	1名
<small>ス ム バ</small> Sumpah	1名
Argh!	1名
<small>ベ バ ス</small> Bebas	1名
<small>テウルスラ</small> Terserah	1名
<small>ボド アマト</small> Bodo Amat	1名

第二に、相手の言っていることや行為の意味が分からない時・相手に理由を求めたい時に使われる言語表現と考えられるものとして、以下の言葉が考えられる。

アバアン シ
Apaan sih?

ク ナ バ シ
Kenapa sih?

アスリ
Asli?!

この三つの言葉は、日本語では「なんで?」「なんなんだ?」「まじか?」の意味に近い。この二つの「アバアン シ Apaan sih?」と「ク ナ バ シ Kenapa sih?」は疑問詞が入っているが、最後の「アスリ Asli?」には疑問詞が入っていない。その「アスリ Asli?」の本来の意味は本物・実物であるが、アンケートの回答によれば、若年層がその言葉の意味を少し変え、相手の言っていることや行為が分からない時に使うことが多いことが分かった。また、日本語の「本当?」に最も近い意味を持つインドネシア語はあるが、怒りの言語表現というより、驚きの言語表現に近いと考察した。アンケートの回答によれば、最も多いのは「アバアン シ Apaan sih?」であり、そ

それを答えた人はアンケートの回答によれば、6名いた。筆者が考えたこの怒りの言語表現の種類がインドネシア語では非常に少ないことが分かった。

言語表現	人数
アバアン シ Apaan sih?	6名
アスリ Asli?!	2名
ク ナ バ シ Kenapa sih?	1名

第三に、

アンジン Anjing	バビ Babi	バンサット Bangsat	ブレンセク Brensek	ジャブライ Jablay
バンケ Bangke	バジンガン Bajingan	モニェト Monyet	オランギラ Orang Gila	ゲロ Gelo
タイ Tai	ブスク Busuk	サムバ Sampah		

動物の名を使う言語表現、「Anjing」「Babi」「Monyet」は日本語で「犬」「豚」「猿」であり、相手の言っていることや行為から生じた怒りを覚えた時によく使うことが分かった。アンケートの回答によれば、46名から、「Anjing」と答えた人が5名いた。他の「Babi」と「Monyet」の言葉表現と答えた人はそれぞれ1名であった。以上から、多く使われているのが「Anjing」であることが分かった。動物の名を使う言語表現、「Anjing」は第1種類の「Anjir」より深く相手を傷つける。また、「Bangsat」「Brensek」「Jablay」「Bajingan」は日本語では使わないかもしれないが、「馬鹿野郎！」の意味に近い。しかし、「Bangsat」「Brensek」「Jablay」「Bajingan」は「馬鹿野郎！」よりもよりひどい意味合いである。また、「Orang Gila」「Gelo」は日本語で狂人の意味である。最後に、「Busuk」「Tai」「Sampah」「Bangke」は日本語で「腐った」「糞」「ゴミ」「死骸」と言い、相手にそうなればいいという意味がある。インドネシア語で「Bangke」は、話し言葉で、元々の形は「Bangkai」であった。インドネシア語では「ai」という母語が話し言葉で「e」に変わることが多い。また、アンケートの回答によれば、最も多いのは「Tai」であり、7名が答えた。この種類の言葉を相手が人間以下の価値とみなす言葉である。また、この第三の動物を表す言葉を品詞の視点を考えると、日本語と違って大体は名詞であることが分かった。

言語表現	人数
タイ Tai	7名
アンジン Anjing	4名
バンサット Bangsat	2名
モニェト Monyet	1名
ブレンセク Brensek	1名

ジャブライ Jablay	1名
バジンガン Bajingan	1名
オランギラ Orang Gila	1名
ゲロ Gelo	1名
バビ Babi	1名
ブスク Busuk	1名
サムパ Sampah	1名
バンケ Bangke	1名

次は、第四については、日本語の場合と異なるものである。

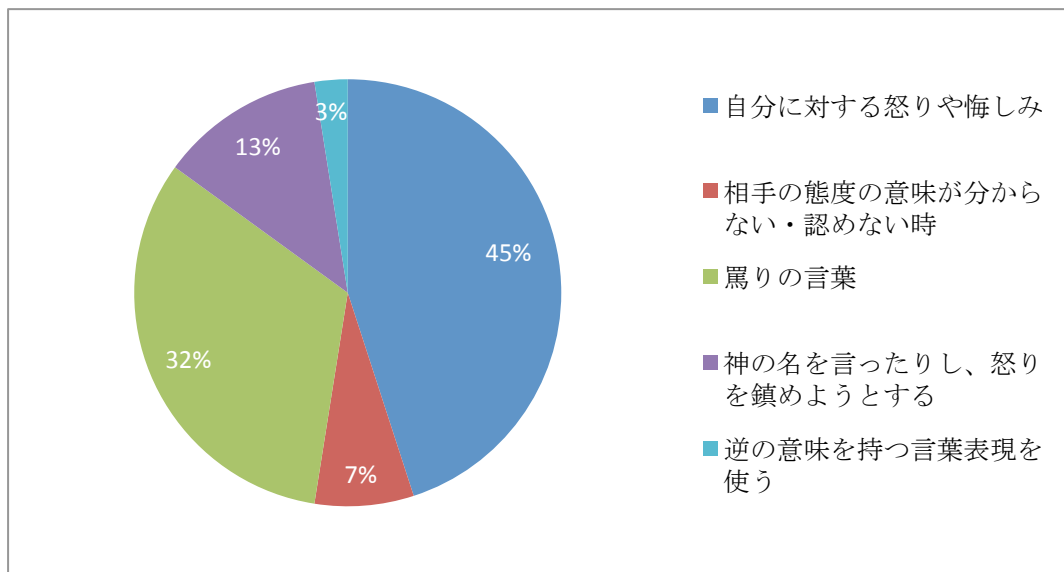
ヤスダラ Yasudahlah	アスタガ Astaga	アテウラ Atulah
<i>Astagfirullah</i>	<i>Ya Allah</i>	

以上の言葉表現は日本語で表現できないが、意味としては第一の自分の感情も、第二の相手に対するの不快感も含まれている。ただし、その要求を（できる範囲で）受け容れ、何とかし、怒りを鎮めようとする。「*Yasudahlah*」「*Astaga*」はインドネシア語であるが、インドネシア人向けのアンケートの対象者は、西ジャワにあるパジャジャラン大学の大学生であることから、「*Atulah*」は方言のスンダ語である。そして、「*Astagfirullah*」「*Ya Allah*」はアラビア語である。インドネシア人の87%はイスラム教だから、神様の名を「*Astagfirullah*」「*Ya Allah*」と言い、英語では「Oh My God!」の意味に近い。英語の「Oh My God!」は驚きの言語表現でも使われ、「*Ya Allah*」に似た意味だが、「*Astagfirullah*」は日本語で訳すと、「神様よ、私にお許しをください」という意味である。アンケートの回答によれば、この第四の最も多く使われるのは「*Astagfirullah*」であり、4名いた。また、この第4種類の言葉表現、「*Yasudahlah*」を除いて、品詞として間投詞である。

言語表現	人数
<i>Astagfirullah</i>	4名
アスタガ Astaga	1名
ヤスダラ Yasudahlah	1名
<i>Ya Allah</i>	1名
アテウラ Atulah	1名

最後の第五には、逆の意味を持つ怒りの言語表現である。アンケートの回答によれば、答えた人は1名であった。その言葉表現は「Beres banget^{ベレス バンゲト}」である。この種類の言葉表現は、自分が怒りを覚えた時に自分に対しても相手に対しても、日本語で「ムカつく」「ウザい」のような怒り言葉表現を言わず、「Beres banget^{ベレス バンゲト}」、日本語で「よくできたな!」のような言葉表現を使う。

図2 インドネシアの若者に対するアンケートの回答



2.3 怒りを覚えた時の日本語とインドネシア語の言葉表現の違い

以上、日本人とインドネシア人の若年層の怒りを覚えた時の言語表現をアンケートで中心に考察し、大きな違いがあることが分かった。その国で用いられる言語はアイデンティティだけでなく、その国の習慣を表すといわれている。図1と図2を見ると、インドネシア語は日本語より怒りの言語表現の種類が多い。なお、日本とインドネシア語における怒りを覚える言語について共通するものは、第一から第三である。また、その割合によれば、自分に対する怒りの言語表現は日本語もインドネシアもどちらも最も多く使われていることが見られる。問題はその次に多く使われる言葉である。日本語の場合は第二の相手の態度が分からない時にその理由を求めること。一方、インドネシア語の場合は第三の罵りの言葉である。そこで、インドネシア語では怒りを覚えた時に、相手に理由を求めず直接罵りの言葉を使う場合が高いことが読み取れる。さらに、インドネシア人は怒りを覚えた時に自分が間違っていると思わず、まず相手を責める傾向が高いように思われる。日本人はまず自分が間違っていると思い、罵りの言葉を使う人が非常に少ないことから、日本人は相手に直接罵りの言葉を使うよりも、理由を求めるほうが多い傾向にある。それは日本古来からの「慎しみ」というものが影響しているのではないかと考えられる。

また、日本では熱心に一神教の宗教を信仰する者は、イスラム教が9割を越えるインドネシアよりも少ない。インドネシアの若者に対するアンケートの考察の第四のような言

葉表現は日本ではみられない。また、その第五の逆意味の言葉で表すことについては、アンケートの回答によれば、一つの言葉表現しか出なかった。日本の尊敬語で怒りを表すこともあるから、次の2.4で述べることにする。

2.4 尊敬語で怒りを表す場合

「貴様」という言葉の由来は古く、室町時代の末期には既に使われていた。主に男性が目上の人に対して呼ぶ敬称で、武家が書く手紙などで使われていた言葉だった。

次第に日常会話でも使われるようになったのは江戸時代の前半からで、その時も相手に高い敬意を示す呼び方として定着していた。「貴様」は、文字通り「貴方様」という丁寧語だった。それから江戸時代中期以降になり軽い敬称として、後期にもなると対等の立場の者や目下の者に対して罵りの言葉としても使われるようになってきた。また、「お前」というややぶっきらぼうな相手の呼び方も、江戸時代初期までは「御前様」という、位の高い貴人を敬う言葉として使われていたが、これも明治以降は敬意の意味が無くなってしまい、目下に対して使う言葉として定着している。これについては、いずれ改めて研究したい。

日本語では場合により、使われる代名詞の種類が沢山ある。ここでは主に二人称について述べていく。日本語だけではなくほかの語でも、相手と呼ぶ時に二人称代名詞を使う。しかし、日本語の場合は、相手に直接指す呼び方などは相手を突き放し、失礼に当たる。夫婦や音楽の歌詞などで、「お前」「あなた」「君」を使うことがあるが、その呼び方は目下の人に対する二人称の呼び方であるから、目上の人に対しては使わない。使うとしたら、どんなに尊敬語を使っても、二人称を直接指す呼び方は怒りを表す。ビジネスマンは、上司に対する呼び方はそのタイトル、「社長」や「先輩」などを使うが、親しい友達や目下や年下の人に対しては「名前+さん」を使う。しかし、日本人が困っていることは自分の上司ではなく、その上司の家族や自分にとって初対面の人などに対する呼び方である。「貴方様」など尊敬語を使っても、物足りない。また、東日本と西日本は言葉の用法が違うこともある。

インドネシア語の場合は、二人称代名詞「^アnda」「^カmu」「^カu」「^ロ」「^エlu」「^コe」「^コuン」「^サmベヤン」「^ウンジュヌンガン」などがある。地域によって相手に対する呼び方の用法には方言も使われるので、異なることがあるが、標準語の「^アnda」と「^カmu」を用いても失礼に当たらない。「^アnda」は最もフォーマルな言い方であり、「^カmu」は自分と同じ立場や目下の人のみ使われる。ある場合によって、「^アnda」を使うと、怒りを表す場合もある。それに対し、「^カmu」は日常に最も自然な相手の呼び方であり、怒りを表すことはない。ある地域では、日本語と同じく、親しい友達や年下の人に対する呼び方は名前を使う。それに対し、相手に直接指す呼び方、「^カu」を使うと、失礼に当たることもあり、怒りを表すこともある。また、インドネシアのジャワ語の中でも様々なジャワ語がある。例えば「^コe」「^コuン」は、「^カmu」と同じ用法であり、「^サmベヤン」「^ウンジュヌンガン」は目上の人と同じ立場の人に対する呼び方に使われる二人

称代名詞である。しかし、「^{サムベヤン}Sampeyan」「^{ウンジュヌンガン}Jenengan」はジャワ語の尊敬語であり、「^{アンダ}Anda」と同じ用法で、怒りを表す場合もある。また、「^ロLo」「^{ウル}Elu」は元々ブタウィ語（ジャカルタの地方語）の二人称代名詞であったが、20年ほど前から若年層が多く使うようになり、「^{カム}Kamu」と同じ用法である。インドネシア人の若者は日本人の若者と異なり、初対面の人でも相手にインドネシア語の標準語を使う人がほぼいない。また、インドネシア語の標準語を使うと、相手に不快を感じることである。

3. おわりに

本研究では平成以降出生した日本人の「怒り」の言語表現について、アンケートを中心に考察を行った。先に述べたように、大きくわけて5種類に分けられることがわかった。主な結論は以下の通りである。

1. 最も多く使われる怒りの言語表現は「自分に対する怒り」の言語表現であり、52%を占める。
2. 「ムかつく」という身体と関係ある言葉が最も多く使用される。
3. インドネシア語と異なり、罵りの言葉を使うことが非常に少ない。
4. 神の名を言うような言葉表現を使うことはない。インドネシア語と異なり、一神教の宗教を信仰する者が少ないことが理由と考えられる。
5. インドネシア語では、話者と同じ立場や目下の相手に対する自然な呼び方の二人称代名詞はあるが、日本語の場合は自然な呼び方の二人称代名詞はなく、尊敬語を用いると、失礼に当たり、怒りを表すこともある。
6. 日本語もインドネシア語も尊敬語を使えば使うほど怒りを表すことになる。

怒りをおぼえたときに用いる日本語には、インドネシア語と相違がある。それは慣習によるものが大きいと考えられる。一神教が否かの影響が見られ、また、日本では自身を責める傾向があり、そこには「慎み」という観念が見られるのではないかと考えられる。

今回の調査のデータ数は十分であるとは言いがたい。また対象も日本、インドネシアも、ともに大学生が対象であった。より広範囲の対象者、及び地域についてアンケートを行えば、詳細な考察ができるものと思われる。具体的に二人称代名詞の用法について考察するとしたい。

最後に本論文のアンケートにご協力を頂いた広島大学の学生、文学研究科の職員の方々、パジャジャラン大学の学生に深く感謝申し上げます。

<注>

1. 胸やけ・胃のもたれ・むかつき（2014）
2. 日本語俗語辞典（2005）むかつく
3. 日本語俗語辞典（2005）うざい

参考資料

安倍幸治、小澤賢司、鈴木陽一他（1997）『音色表現語，感情表現語及び音情報関連語による環境音評価』

金子泰子（2000）『若者と尊敬表現』

斎藤純男、田口善久、西村義樹編（2015）『解明日本語学辞典』三省堂

佐藤達三（2013）『不快感がスーッと消える本』PHP 研究所

FU Gaihua（2014）『日本語における主語省略の条件についての考察』新潟大学大学院

貴様の意味って本来は尊敬語だった？！正しい二人称の使い方とは

<<http://kamome-times.com/archives/2518.html>>（2016/07/28 アクセス）

胸やけ・胃のもたれ・むかつきから考えられる病気

<http://www.k-salad.com/dic_trouble/condition05.shtml>（2016/07/28 アクセス）

日本語の人称代名詞は、英語や欧州語のそれと違う

<<http://iyaku.hateblo.jp/entry/2014/02/15/221706>>（2016/08/24 アクセス）

日本語俗語辞書

<<http://zokugo-dict.com>>（2016/07/28 アクセス）

『腹が立つ』と『ムカつく』はどう違う？

<<http://www.alc.co.jp/jpn/article/faq/04/178.html>>（2016/07/28 アクセス）

CHAER, Abdul. 2012. Linguistik Umum. Jakarta. RINEKA CIPTA

Kata Ganti (Pronomina)

<https://id.wikibooks.org/wiki/Subjek:Bahasa_Indonesia/Materi:Kata>（2016/07/25
アクセス）

Mahasiswa dan Anjir

<http://www.kompasiana.com/katpar/mahasiswa-dan-anjir_54f7fe11a33311f2608b486f>（2016/07/25 アクセス）

「Penjelasan Kata Ganti dalam Bahasa Indonesia (Lengkap)」

<<http://www.kelasindonesia.com/2015/07/penjelasan-kata-ganti-dalam-bahasa-indonesia-lengkap.html>>（2016/07/25 アクセス）